

自閉症総合援助センター 萌葱の郷
豊後大野子育て総合支援センター

ASSIST



～芽吹く未来へ～



◆社会福祉法人 萌葱の郷
障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

平成27年10月より就労継続支援A型の事業を開始しました。それに伴い、就労継続支援A型の作業の1つとして、本格的に梨の栽培に取り組んでいます。美味しい梨が収穫出来るように、毎日真心を込めて作業をしています。どんこの里いぬかいの梨をどうぞ宜しくお願いします。

2016.4.1 発行
VOL.10



自閉症総合援助センターを目指して

理事長 五十嵐 康郎
(全国自閉症者施設協議会会長)

昭和63年に自閉症者施設開設準備を始め、平成2年9月に社会福祉法人萌葱の郷を設立しました。早いもので、四半世紀が過ぎました。農地転用許可申請に手間取ったことと、バブル経済の真ただ中だったことによる工事の遅れから、平成3年4月に予定していためぶき園開園が2カ月遅れ、赤字からのスタートを余儀なくされました。

1法人1施設の厳しい経営が続きましたが、早期療育施設が別府市、中津市の2か所しかなく、遠距離通園による児童や保護者の負担が大きいことから、児童デイサービスを圏域毎に新設することになりました。

大野郡8カ町村の関係者による話し合いの中で、保護者代表の方から、「療育の内実が伴わなければ、意味がない。スタッフを早期療育の先進地で4～5年研修させる必要がある」という趣旨の意見が出されました。保育や障がい児療育の第一人者である石井哲夫先生（故人）のもとで、早期療育の経験を積んだ人材を確保できたことから、当法人が平成13年に地域の早期療育施設として、こどもデイサービスセンター「なごみ園」を開設しました。

「なごみ園」の開設が、その後の発達障がい者支援センター「イコール」、ホームヘルプサービスセンター「らすかる」、幼保連携型認定こども園「いぬかいこども園」、こども発達支援センター「大分なごみ園」、こども発達・子育て支援センター「なかよしひろば」の開設につながりました。

上記の事業に加えて、障害福祉サービス事業所「どんこの里いぬかい」、ケアホーム「かわしま」、相談支援事業所「プラス」を開設し、自閉症総合援助センターとして、早期療育、生活支援、在宅支援、就労支援、余暇支援、相談支援、専門家養成等に取り組み、自閉症を中心とする発達障がいの人たちの豊かな育ちと暮らしを実現するとともに、老年期、親亡き後の看取りまでのライフステージを通して支援するという理想を目指しています。

平成27年10月「どんこの里いぬかい」に就労継続支援A型（雇用型・最低賃金保障）を開設しました。強度行動障がい療育棟を新築し、行動障がい等により、通常の福祉サービス利用に結びつかない人たちの療育と自立にも取り組んでいます。

平成28年3月末日完成の予定で、いぬかいこども園の屋内運動場兼研修会場として、旧犬飼町給食センターの改修工事（全額自己資金）を進めています。平成28年度はグループホームの増築と新設さらには「大分なごみ園」の増築、センター化を予定しています。

豊後大野市から旧犬飼在宅介護支援センター（建物）の譲渡（平成28年4月予定）が決まりましたので、同所に発達外来の診療所を開設する予定です。

職員の育成と充実に努め、さらなる実践・研究を重ねることで質の高い療育と支援を創出し、発達障がいの人たちが地域で豊かに育ち安心して暮らせる社会モデルの実現を目指します。





障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

どんこの里いぬかいは、平成22年5月に開設し大分県の「里の駅」として、レストラン・物産直売所・公衆トイレの管理を就労支援の一環として運営して来ました。その後、自閉スペクトラム症の人たちの就労支援のニーズと通所作業所の充実の為、事業内容を変更し、多機能型通所事業所として現在は、就労継続支援A型10名、就労継続支援B型10名、生活介護10名の定員で事業を展開しています。



☆ 概要 ☆

運営主体	社会福祉法人 萌葱の郷
住 所	大分県豊後大野市犬飼町久原 1863-8
連絡先	TEL 097-578-0077 FAX 097-578-1226
定 員	就労継続支援A型10名 就労継続支援B型10名・生活介護10名
職 員	管理者・支援員・職業指導員・看護師
営業日	月曜～金曜日

☆ 1日の流れ ☆

- 9:00 通所・更衣（ミーティング・体操）
活動開始（就労継続支援A型）
- 10:00 活動開始（生活介護・就労継続支援B型）
- 12:00 昼食（前半休憩組）
- 13:00 昼食（後半休憩組） 活動開始（前半休憩組）
- 14:00 活動開始（後半休憩組）
- 15:00 活動終了（生活介護・就労継続支援B型）
- 16:00 活動終了（就労継続支援A型）
活動終了後、帰宅



☆ 事業内容 ☆

就労継続支援A型	梨園業務（梨の栽培及び管理）・畑業務（野菜の栽培及び管理）
就労継続支援B型	レストラン業務・製麺業務
生活介護	機織り作業・公衆トイレの管理・環境整備

☆ 作業風景 ☆

梨園



畑（出荷準備）



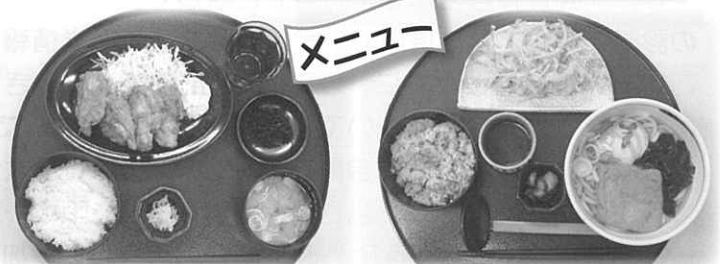
機織り



厨房



メニュー



チキン南蛮定食

スペシャルうどんセット

※その他にも、お薦めのメニューをご用意しております

レストラン



レストラン／営業時間 11:00～15:00

平成27年度ペアレントメンター養成研修

ペアレントメンターとは？

発達障がいのある子どもの子育て経験がある保護者であり、相談を受けるための専門的な援助技術を修得した上で、発達障がいのある子どもを育て始めた保護者に対して子育ての不安や悩みに寄り添うとともに、発達障がいとその支援に関する情報提供などを行う人のことを指します。

養成研修について

子どもが発達障がいの診断を受けた保護者は、子どもの将来や障がい受容について、友人や専門家に相談してもなかなか共感が得られず、不安が解消されにくいといった悩みを抱えています。

このような保護者の不安や孤立感を軽減することができるように、大分県下で幅広くペアレントメンターを養成し、地域での支援体制を整備することを目的として、大分県発達障がい者支援センターECOALでは平成27年度から平成29年度まで大分県の委託を受け『ペアレントメンター養成研修』を実施することになりました（毎年度、募集を行います）。平成27年度は約40名の応募があり、県内各地の親の会等で活動する23名が受講されています。

研修スケジュール

	研修内容	講師
1日目	開講式・オリエンテーション	事務局（ECOAL）
	ペアレントメンターに求めること	大分県自閉症協会 副会長 平野昌美 氏
	発達障がい児の子育て	臨床心理士 合田紀子 氏
2日目	大分の子どもの発達支援について考える（シンポジウム）	
	ステキをみつける保育・療育・子育て	日本福祉大学子ども発達学部 教授 近藤直子 氏
3日目	親に対する相談支援技術	社会福祉法人JHC板橋会 理事長 寺谷隆子 氏
	傾聴について学ぶ（ロールプレイ）	
4日目	社会資源について1（教育）	大分県教育庁特別支援教育課 課長 後藤みゆき 氏
	社会資源について2（福祉）	別府市相談支援事業所ばれっと 相談支援専門員 首藤辰也 氏
	社会資源について3（子育て）	おおいたホームスタート推進連絡会議会長 土谷 修 氏
5日目	実習（ロールプレイ）	事務局（ECOAL） 大分県発達障がい者支援専門員の会
	地域の支援マップ作成	
	修了式	

平成27年度大分県発達障がい者支援センター主催講演会

平成28年3月5日（土）、別府大学短期大学部大分キャンパスにおいて、一般社団法人日本自閉症協会会長の山崎晃資（やまざき・こうすけ）氏を講師としてお迎えし、「発達障害を巡る諸問題」と題して、発達障がいの診断について臨床現場での実践を踏まえた医学情報をご紹介いただくとともに、DSMの改正に伴っておきている効果や課題などについてもご講演いただきました。

今回の講演会は、九州自閉症研究協議会第40回大分大会との合同開催とし、当日は保護者、教育・保健・福祉・医療・労働関係者など約300名の方々にご参加いただきました。今後もたくさんの方々にご参加いただけるような講演会を企画していきたいと考えています。



平成27年度大分県発達障がい者支援センター就労支援者研修会

平成27年度から大分県発達障がい者支援センターでは、発達障がい者地域支援マネージャーを配置し、発達障がい者の就労支援を担当している方を対象として研修を開催する運びとなりました。研修では、表のような充実した講師陣を迎えて、毎回約30名の受講生が研修に参加しました。今後も福祉、労働、医療、教育等の機関において発達障がい者の就労支援に関わっている皆様方との相互の連携と支援者の理解向上に努めていきたいと考えています。

…… 就労支援者研修会 研修内容 ……

研修Ⅰ：講義・意見交換会	
講義①『発達障がい者の認識の仕方と支援者の心もち』	大分県発達障がい者支援センターECOAL 副センター長 田中 秀征氏
講義②『発達障害者雇用の現状と利用できる制度』	大分労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官 友永 勝喜氏
意見交換会 『発達障がい者の就労支援と自己理解に向けた支援』	大分障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 鷹居 勝美氏
	障害者就業・生活支援センター大分プラザ センター長 赤嶺 光徳氏
	大分県教育庁特別支援教育課 指導主事 内田 明伸氏
	大分労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官 友永 勝喜氏
研修Ⅱ：事例発表・検討会	
『就労に結びついた事例・困難事例』	大分県発達障がい者支援センターECOAL
研修Ⅲ：講義	
講義③『発達障がい者の就労について』	大分障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 鷹居 勝美氏
講義④『障害者年金および手帳について』	大分県こころとからだの相談支援センター 所長 土山 幸之助氏
講義⑤『青年期・成人の発達障がい者支援について』	医療法人謙誠会 博愛病院 院長 釘宮 誠司氏
研修Ⅳ：講演会	
平成27年度センター講演会『発達障害を巡る諸問題』	一般社団法人 日本自閉症協会会長 医学博士 山崎 晃資氏
九州自閉症研究協議会第40回大分大会 『自閉スペクトラム症児・者とその家族支援』	
研修Ⅴ：成人の会（当事者会）	
11月 下関日帰りバス旅行	
1月 ワークショップ・イトコサガシ	イトコサガシ代表 冠地 情氏
3月 カラオケ大会	

*** ワークショップ・イトコサガシ（成人の会） ***

1月の研修では、東京からイトコサガシ代表の冠地情氏を講師にお招きして、当センターを利用する成人の方を対象としたグループ活動「成人の会」に、就労支援者研修生も参加し、みんなで楽しいコミュニケーションを目指すワークショップを開催しました。

参加者のみなさんの感想では

- ・日々のコミュニケーションをもっと大切にしたい
- ・夢に向かって目標を立てることができてうれしかった
- ・時間が足りないほど集中できた。疲れなかった
- ・次回はぜひ10時間ワークショップを受けてみたい
- ・とても安心感を感じた
- ・「ちょっとでも好きなもの」を書いている時、素直な自分を感じた
- ・自分の世界が広がった感じです
- ・ところが揺さぶられ、涙が出そうでした
- ・自分の言葉で表現することの大切さをとても感じた

など、今後の生活や支援に活かすヒントをたくさんもらっているようでした。



冠地 情氏



イトコサガシの会場風景

「わたしの療育論」

共に考える姿勢

こども発達・子育て支援センターなかよしひろば
支援係長 新宮 貴志

私が萌葱の郷に勤めて9年目を迎える年となり、現在に至るまでなごみ・なかよしひろばにて、子どもたちの成長に関わる支援の現場で経験を積ませてもらっています。

日々、子どもと関わるなかで感じることは、相手の気持ちを察することが苦手な子どもがいるなかで、自分自身の気持ちにも気付いていない子どもが多くいるということです。

例えば、突然他児を叩いてしまう行動をとってしまう子どもがいます。そのような場合、周囲の大人はなぜ叩いたのかを本人に確認しつつも叩く行為に着目し、叩いたことへの反省を聴いてもはつきりとした理由が分からないことがあります。うまく自分の気持ちを言葉にして伝えることが苦手な場合もありますし、衝動的に手が出てしまっている場合もあります。

しかし、わたしは子どもの行動一つ一つには必ず理由があると思っています。そのため、私は叩いてしまったことへの反省を促すのではなく、結果的に叩く行為に至ってしまうマインドストーリーを、子ども自身が認知できることを大切にしています。なぜならその自

己認知ができていないまま、大人から注意をされたり、止められたりしても、解決方法が分からず、別の場面でも同じような行為を繰り返してしまうことになるからです。

では、自己認知をどのように支援しているかという点、行為を咎めるような声掛け。「どうして」「んなことをするの。ダメでしょ」というような声掛けだけでは教育になりません。場面にもよりますが、相手を叩くという行為に至っている状況は子ども自身が困っていることが少なくありませんので、私はなぜそのような行為に至ってしまうのかを理解するために、「あなたの困りを一緒に考えたい」というスタンスで関わるようにしています。子どもの気持ちに寄り添い、行為に至ったマインドストーリーを共に考えていくことで、子ども自身が行動の原因に気付き、解決策を見出ししていくことで行動の仕方を学んでいきます。そこでつい、子どもたちにどのようにすればよいかの答えを先に提示したくなるのですが、子どもと共に考え、共に気付き、共に次のステップに繋がる考えを見つけていくことを大切にしようとしています。

平成27年度 社会福祉法人萌葱の郷 研修委員会 年間活動報告

月	日時	開催研修	内容・演題	講師	内/外	会場
4月	1日(水)	新人研修	「自閉症療育におけるコベルニクスの転回」	萌葱の郷 理事長 五十嵐康郎 氏	内	イコール2階
			「新人職員に伝えたいこと」	めぶき園 支援課長 丹生朱美 氏		
			「接遇マナーについて」	萌葱の郷 事務長 近藤暢秀 氏	内	各事業所
	26日(日)	合同研修会	「なごみの基本理念と職員に求められること」	豊後大野子育て総合支援センター センター長 五十嵐 猛 氏 なごみ 支援課長 秋月正博 氏	内	いぬかいこども園
	27日(月)	◆第1回研修委員会	顔合わせおよび今後について			イコール2階
5月	9日(土)	中堅研修(全体)	「平成27年度 萌葱の郷のビジョンについて」	萌葱の郷 理事長 五十嵐康郎 氏	内	ますの井ホテル
	17日(月)	◆第2回研修委員会	「各事業所の年度目標について」	豊後大野子育て総合支援センター センター長 五十嵐 猛 氏		イコール2階
	24日(日)	大分なごみ園研修	「インリアル法について」 「なごみの療育について」	臨床心理士 合田紀子 氏 なごみ 支援課長 秋月正博 氏	内	大分なごみ園
6月	21日(日)	なごみ研修	「家族・支援者が知っておきたい障害年金の基礎知識」	社会保険労務士 飯塚泰雄 氏	外	なかよしひろば
	各日	中堅研修(事業所毎)	「ビジョン実現に向けた具体的な取り組みについて」	大分なごみ園・なごみ 支援課長 福田和彦 氏 秋月正博 氏 めぶき園・イコール 支援係長 後藤伸二 氏 田中秀征 氏	内	各事業所
7月	各日	中堅研修(事業所毎)	「ビジョン実現に向けた具体的な取り組みについて」	いぬかいこども園 副園長 平岡千枝 氏 なかよしひろば 支援係長 新宮貴志 氏	内	なかよしひろば
	7日(月)	◆第3回研修委員会	各研修について			イコール2階
8月	20日(木)	いぬかいこども園研修	「大分県保育事業研究大会での事例研究について」	いぬかいこども園 保育教諭 久原恵子 氏	内	いぬかいこども園
	22日(土)	大分なごみ園研修	「よいとご探し」「自分を知ろう」		内	大分なごみ園
9月	8日(火)	◆第4回研修委員会	各研修について			イコール2階
	8日(火)	なかよしひろば内部研修	「インリアル法について」	臨床心理士 合田紀子 氏	内	なかよしひろば
10月	13日(火)	一般研修	「発達障がい基礎と関わり方」	イコール 支援係長 田中秀征 氏	内	犬飼公民館
	20日(火)	◆第5回研修委員会	各研修について			めぶき園多目的
11月	17日(火)	中堅研修(事業所毎)	第2回「大分県保育事業研究大会での事例研究について」	いぬかいこども園 保育教諭 久原恵子 氏	内	各事業所
	25日(水)	◆第6回研修委員会	各研修について			イコール2階
	30日(月)	どんこの里研修	「高機能広汎性発達障がいについて」	イコール 支援課長 佐藤任孝 氏	内	イコール2階
12月	各日	中堅研修(事業所毎)	日々の療育での学びを発表	らすかる ホームヘルパー 原亮輔 氏	内	各事業所
1月	各日	中堅研修(事業所毎)	日々の療育での学びを発表	なごみ・なかよしひろば 児童支援員 宮野史徳 氏 赤嶺祐希 氏 イコール 支援員 小西みのり 氏	内	各事業所
	26日(火)	◆第7回研修委員会	各研修について			イコール2階
2月	13日(土)	めぶき園研修	「動作法を行う際の支援者の心構えについて」	からだの教室 Laugh 阿部京子 氏	外	めぶき園事務室
	20日(土)	一般研修	利用者支援についてのグループ演習	大分なごみ園 支援課長 福田和彦 氏	内	なかよしひろば
	20・27日	いぬかいこども園研修	「食物アレルギーの対応」	いぬかいこども園 栄養士 安藤明美 氏	内	いぬかいこども園
	29日(月)	◆第8回研修委員会	各研修について			イコール2階
3月	2日(水)	衛生委員会研修	「豊かな生活を実現するために」	萌葱の郷 理事長 五十嵐康郎 氏	内	イコール2階
	各日	中堅研修(事業所毎)	日々の療育での学びを発表	めぶき園 主任看護師 首藤千鶴代 氏 どんこの里いぬかい 主任支援員 木下祐市 氏	内	各事業所
		◆第9回研修委員会	次年度について			イコール2階

conversation with ECOAL 支援係長 田中 秀征

A：なんだか…田中さんとこんな風に話すのは変な感じがしますが…よろしくお願ひします。

田：はい。よろしくお願ひします。

A：では、まずはこの仕事に携わろうと思った出来事があれば教えてください。

田：出来事…というほどのこともないけど…父親が聾学校の教師をしていた流れがあって、それで聴覚障がいを持つ子が家に来たりとかいう中で、わりと小さい時から障がいのある子たちと関わりがあったからというのが1つあるかな。あとは、高校の時に本当は医学部を目指していたんだけど、それが難しいってなって…じゃあ、どうしようかなとなった時に父親がやっている仕事も悪くはないのかなと…そういう道にいかうかなと思って障がい児教育にいった。でも、実習をやっていく中で『全く向いてないな』と(笑)。別に子どもと関わるのはいいんだけど…自分が教師として働くにあたって、他の先生たちとソリがあわなかった！俺がつぶれてしまうと思って、教員っていいのではないなあと思った(笑)

A：それ…書けないです(笑)

田：書かなくていいんだけど(笑)。そのあと、進路をどうしようかと考えていた時に父親の仕事をも思い出した。30年間長崎の聾学校に在籍していて、入学から卒業までを見ることができて、小さい頃から大人になるまでライフスタイル？成長を追っていくというのはいいなあと思っていた。学校の先生だとどうしても異動があるから同じようにはできない、卒業後はわからないというのは自分的には気になっていて部分でもあるから、そこも含めて教員を目指すことはやめた。研究職が面白くなってきた時期でもあって大学院に進学したんだけど、丁度、仙台の発達障がい者支援センターでバイトしないか？という誘いを受けたんだよね、「やりませんか？」みたいな。そこで初めて発達障がいの子に出会ったんだよね。大学の時にボランティアで自閉症の子とかと遊んだりもしてたんだけど、その時はそんなに興味もなかった、支援学校の子って感じで。まともに関わったのはそこが最初。聴覚専攻だったから、机上の勉強は皆無に等しかった。大学院に週2日通う傍ら、週3回嚥下で心理判定員として支援センターで働いてた。そんな生活。

A：机上の勉強は全く皆無！そこで、相談員の道に進むことを決めましたか？

田：うん、そう。全くしてない(笑)。本も1冊も持ってない(笑)。概論で触れた程度かな。自閉症って全く興味なかったな、その時は。でも、2年の嚥下時代の関わりの中で、「発達って面白いな」という気持ちが強くなって。特に「俺も発達(障がい)の特性が強いじゃん！」と気づいたことが一番大きかった(笑)。あとは…聴覚の分野はそれなりに歴史もあって、色々な研究もされて、勉強した人なら誰でもできるかな？自分じゃなくてもいいなって思った。でも、発達障がいの分野はまだ未知数で、これからという感じだったから、自分にも何かできることがあるんじゃないかなと思ったから。発達は面白いし、「いいや、こっちで。発達の現場に行こう。」みたいな。

A：軽いつ！(笑)

田：軽いよね(笑)。でも、その時は本当にそんな感じだった。あまり人の通っていない道を歩いていきたいという気持ちと、父親が聴覚を極めたのなら、自分は発達を極めようかなという気持ちもあったんだ。

A：そこで、相談員として支援センターへの就職が決まったんですね。

田：そう。偶然？大分県の発達障がい者支援センターの話があって。センター長と5分くらい話して、「あっ！この人発達の話がわかってる！」って思った(笑)。ここ、書けないと思うけど(笑)。だけど、条件が問題で…すぐは入れられないから、アルバイトでって感じだった。週3回。それじゃ食べていけないなと(笑)もう1つの話があったからそっちにいったんだけど。3月末…27日くらいにセンター長から電話があって「やっぱり常勤で！」って言われて、「常勤ならやります〜」って話。決まった相手の方を断ってここに来た(笑)

A：そこから10…1年？実際に現場にでて、いかがですか？

田：かなり好きにやらせてもらってるから、何にも不満はないよ(笑)。極めるっていう意味では、やればやるほど深みは増していくし、まあ難しいけど、なんていうか、面白いというか楽しいかな。まだまだ、全然だとは思って。自分はあまり人を尊敬することってないんだけど…石井(哲夫)先生はすごいと思う。先生の話を聞いた時に、「こんなに取り組んでいる人がいるのはすごい！この域に達している人がいるのはすごい！」というのは、すごく感じた。講演を2回聞いたことがあるくらいだけど、今まで聞いたどんな話よりも自分にとっての影響は大きかった。だから、ある種の目標にもなった。あの歳になっても直接当事者の人と関わって話をすることというのをされてた、あんなに偉くなるかと本来なら部下に任せるとなりがちだけど最後まで自閉症の子に関わっていく姿勢が自分的にはすごくいいなあ、自分もそうでありたいなと思った。やっぱり、自分は本人たちと関わるのが一番好きだから。それはどんなに忙し



話し手：田中 秀征 (=田)

聞き手：A

くなくても偉くなくても、続けていきたいと思う。そういう時間になるべく作っていきたくいし、何かしらの関わりを持ち続けていきたいんだよね。

A：はあ…すごいですね。私も田中さんと少しだけ働かせていただく機会がありましたが、田中さんの働きぶりには驚きました！公私の区別がないとか…いつでも可能な時には対応されていて…「しんどい！」と感じたことはないですか？

田：ないっ！…別に仕事のしんどいと感じることは全くないなあ、ストレスもないし。もちろん、「面倒くさい！」ということを感じないわけではないけれど、でも、その瞬間だけかな。一番感じるのは、今の日本の福祉のシステムは、本人がいて、その周りに親や兄弟とか家族がいて、友達や先生、親戚がいて…ごくごく当たり前にある人間関係が「ある」想定で、その人たちで足りない部分を福祉の部分で補ってという考え方で作られていると思うんだよね。例えば、お母さんが基本取り組むという前提で、足りない部分をヘルパー等が補う。でも、発達障がいの子たちってそもそも関係が築けなかったりするわけだよね？友達がいない子に対して、友達を派遣するシステムはないでしょ？本来、発達の子たちは人との関係が結びにくいわけだから、人を派遣しないといけないと思うんだよ。お友達になる支援を提供しないとイケない。そこが欠けているから、いくらホームヘルプとかでやっても結局のところは友達じゃないし、どんなに仲良くなっても、利用者さんヘルパーさんの関係じゃない。となったら、その子たちは、友達がいない人間関係の中で成長していくことになる。でも、僕らは友達が普通にいて、その友達がいてことで充実した生活が送れている。じゃあ、そこがない人たちはどうしたらいい？今の福祉で提供できないものが発達障がいの人には必要なものである場合がある。親が欲しいといっても、ヘルパーで代りにはれない。24時間ずっといてくれるわけではない、じゃあ福祉サービスで提供できないよね？みんなのそういう想いを？悩みを？すごく感じるから、この時間はいいけど、この時間はダメみたいな区切りはできるだけしたくないとか…本人たちにとっては「今、必要！」っていう時に役に立たないと意味がないんだよ。心の理論がある子は理解して我慢してくれるけど、我慢できない発達の子たちは「なんとかしてくれ！助けてくれ！」ってなる。そこを自分は助けてあげたいと思うから、支援していくんだよね。あんまりオンオフつけてないかなあ…。配慮できないわけだから、それをこちらの感覚で切ってしまうというのは、ちょっと違うのかな…と思う。もちろん、支援者全員がそんな対応出来るわけじゃないから、1人くらいはいてもいいのかな？という感覚でやっている。利用者は利用者だけど、あまりそういう線引きもしていない。障がいのあるなしではなくて、人間と人間の付き合いという感覚。できれば楽しい人生を送ってもらいたいと思ってるから、自分がちょっと関わることで楽しくなるのであれば、それは簡単なこと。

A：この仕事の進め方は、田中さんじゃないとできない(笑)

田：何回もいうけど、好きなようにやらせてもらってるから(笑)。イコールに来てよかったと思ってます、はい(笑)。自分が何かししてあげられる人たちなんて、目の前にいる数少ない何人かしかないけど、でも、その人たちの幸せを大事にしていきたいと思っている。人生は一度きりしかないわけですよ、だったら楽しみたいじゃないでしょ！自分はそういう楽しい人生を送りたいし、みんなも楽しんでもらいたい。例えば、ここにはある意味楽しむことが苦手な人は来るわけだから、楽しめるようになってもらいたいな。そのモデルとして、まずは自分自身が楽しまなくてはいけないと思う。それをみて、みんなが楽しく過ごせる方法に気付いたり身に付けていってほしいなと思います。

A：ありがとうございました。

豊後大野市



障害者支援施設 めぶき園(法人本部)
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-0818
FAX097-578-0819
mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-1888
FAX097-578-0819
rasukaru@moeginosato.net

相談支援事業所 プラス
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-0818
FAX097-578-0819



こども発達・才能支援センター なごみ
大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
TEL097-586-8070
FAX097-586-8071
nagomi@moeginosato.net

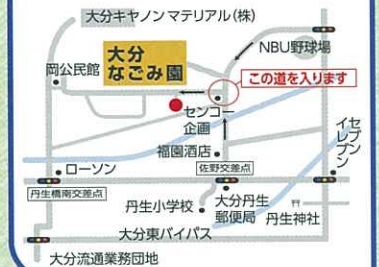


障害福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい
大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
TEL097-578-0077
FAX097-578-1226
donko@moeginosato.net

大分市



こども発達支援センター 大分なごみ園
大分県大分市丹生210-3
TEL097-524-3636
FAX097-524-3637
oita.nagomien@gmail.com



萌葱の郷 ロードマップ



いぬかいこども園
大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
TEL097-578-0706
FAX097-578-0710
inukai-hoikuen@moeginosato.net



こども発達・子育て支援センター なかよしひろば
いぬかい子育て支援センターゆうゆうキッズ(なかよしひろば内)
大分県豊後大野市犬飼町田原1414番地1
TEL097-586-8811
FAX097-586-8818
nakayoshi@moeginosato.net



ケアホーム かわしま
大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
TEL097-578-0885



大分県発達障がい者支援センター ECOAL
大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
TEL097-586-8080
FAX097-586-8181
ecoal@moeginosato.net

平成27年度社会福祉法人萌葱の郷めぶき園後援会
(順不同 平成28年3月現在)

田北晃明様・中野正三様

◆協力者御芳名

秦 正也様・伊美信長様
高橋歯科医院様・三宮信雄様

編集 後記

花の便りが聞かれる中、平成28年度がスタートしました。春は別れや出会いの季節ですが、新年度はどんな出会いが待っているのかとてもワクワクしています。今年度も充実した1年を送れるように、また広報委員会一同も一致団結して、よりよい広報誌になるように、力を合わせて頑張っていきたいと思います。

